

村上市教育大綱

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて



令和4年1月
村上市

1 理 念

村上市は、多彩な自然、歴史、文化に恵まれた人情味あふれるまちです。一方、少子高齢化や人口減少の進行は、本市の課題を顕在化させています。今、私たちには、子どもたちを健やかに育み、市民一人ひとりが輝き、幸せや自信を実感し、誇れる地域を持続可能なものとして次世代へ引き継いでいくことができるまちづくりが求められています。

また、グローバル化の進展、AIやIoTの進化をはじめとする急速な技術革新により超スマート社会（Society 5.0）が到来するなど、社会が大きな転換点を迎える中であって、私たちの生き方や働き方、学び方にも大きな変化が生じています。さらには、2030年までの国際目標として掲げられた持続可能な開発目標（SDGs）は、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指しており、達成に向け全ての市民に公平、公正、安全で質の高い教育を絶えず提供し続けることが求められています。

このように変化の激しいこれからの時代を生き抜くためには、子どもたち一人ひとりが社会の変化に柔軟に対応し、自分のよさや可能性を認識し、多様な価値観を持った人々と連携・協働しながら、複雑化・困難化していく課題に対処できる実力が必要です。

今、子どもたちが生きる「郷（さと）」をフィールドにした、主体的・協働的な学びの積み重ねにより、地域への誇りと愛着を持った持続可能な社会の担い手となる人材の育成、グローバルな視点で様々な出来事に対処できる人材の育成に努めてまいります。

そして、これからの市民の学びは、個の満足度を高めるだけでなく、市民協働のまちづくりや、優しさ・笑顔あふれる交流のある地域づくりに結び付く、次のステージを目指す必要があります。

郷における次代の担い手の育成は、郷の将来にかかわる大切な視点です。市民一人ひとりが、持続可能な地域社会の構築を意識し、主体的・協働的にかかわっていく学びを推進しなければなりません。

教育は「人づくり」であり、人が地域をつくり育てるという観点から、市民である子どもと大人が共に育つ、「人が輝く郷育（さといく）のまち」の基本目標を定め、本市の目指す教育の実現に取り組んでまいります。

2 基本目標

人が輝く郷育（さといく）のまち

固有の伝統文化を守り伝えながら、地域と協働する郷育（さといく）の推進により、優れた人材の育成と郷土の誇りの醸成、地域の活力向上を目指します。

- 子どもたちの学ぶ意欲を高め、確かな学力の定着と健やかな心身を育てます。
- 地域の優れた人材の活用や地域資源を活かした学びにより、学校と地域が協働する教育を推進します。
- 少子化等に対応した教育環境の最適化や先進的な教育を進めるとともに、時代が求める学習環境の整備を図ることにより、子どもが自ら学ぶ力と将来の可能性を広げることのできる優れた学力の習得を目指します。
- 生涯にわたる学習活動を支援し、学びから得られた知識を多くの人に広げる活動を通して、生きがいのある暮らしと豊かな地域づくりを進めます。
- 多様な文化芸術の振興を支援するとともに、本市の歴史文化の財産を保存・継承に努め、郷土の宝や誇りを伝え広める活動を展開します。
- スケートボードやトライアスロンなどをはじめ、本市のフィールドを活かした競技の振興に努めるとともに、スポーツによる健康づくりや若者の夢の実現を支援します。

3 期間

この「大綱」の期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間とします。